

令和7年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用） 全日制

学校番号	70	学校名	静岡県立浜松北高等学校	記載者	飯田 寛志
------	----	-----	-------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	基本的生活習慣の確立と自己管理能力の育成、心身の健康保持・増進と豊かな人間性の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・日ごろから気持ちの良い挨拶ができていると答える生徒 90%以上※ ・清潔で端正な服装をするよう心がけていると答える生徒 95%以上※ ・日々の清掃に真剣に取り組むなど、生活環境の整備に努めていると答える生徒 95%以上※ ・授業の開始や集合時間等、時間を守ることができていると答える生徒 95%以上※ 	B	A	<p>「授業の開始や集合時間等、時間を守ることができていると答える生徒 95%以上」「学校行事に意欲的に取り組んでいると答える生徒 95%以上」特に以上のような生徒アンケートの結果に、校訓、校風（ノーチャイム含め）の特長が表れて好ましい。もっとも、「日ごろから気持ちの良い挨拶ができていると答える生徒 90%以上」については、物足りなさを感じる。「気持ちの良い」という主観にかかる自己評価を回答させている点、割り引いて考えるべきところがあるが、基本的な生活習慣の根幹をなすところ、より一層の向上を期待したい。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・保健だよりの発行 年10回 ・相談室だよりの発行 年3回 ・個人面談の実施 年3回以上 ・頼れる教員がいる生徒 90%以上※ 			
		<ul style="list-style-type: none"> ・部活動に意欲的に取り組んでいると答える生徒 90%以上※ ・学校行事に意欲的に取り組んでいると答える生徒 95%以上※ 			<p>部活動が任意加入になると回答者の減少が懸念されるが、非加入の生徒へのアプローチも必要ではないか。（加入希望の有無や加入しない理由を把握する等）</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・図書館だより「Book Cover」の発行 年6回 ・読書感想文コンクール参加率（1、2年生）100% 			

様式第4号

イ	<p>確かな学力と幅広い教養を育む学習指導の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学力が向上する授業が行われていると答える生徒 90%以上※ ・勉学に意欲的に取り組んでいると答える生徒 90%以上※ ・課題、小テストの量は適切であると答える生徒 85%以上 ・家庭学習時間の平均 平日 150分以上 	B	B	<p>二度の授業見学では、どのクラスも「もっと知りたい」「自分で考えたい」と感じる活気ある授業だったように思います。</p> <p>授業を視察・参観する限り、十分に「学力が向上する授業」が行われ、生徒らは十分に「勉学に意欲的に取り組んでいる」ように見受けられる。しかしながら、アンケート結果は「それでもまだ十分に生徒らの学習意欲に応える授業や課題提供が出来ていないところがある」ことを示している。より一層の取り組みが期待される。</p> <p>課題・小テストの量が適切だと「あまり思わない」・「思わない」生徒が約 15%みられるが、それを多いと考えるか。そうであれば、どのように改善するのか。</p>
ウ	<p>高い志と自主独立の精神に基づく自己実現を支援する進路指導の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・将来に対する夢や目標を持っていると答える生徒 85%以上※ ・志や進路目標の実現に向けて自主的に取り組む姿勢を育てていると答える生徒 90%以上※ ・進路指導に関する研修会の開催 年4回以上 ・進路指導が適切に行われていると答える生徒 90%以上※ 	B	B	<p>将来に対する夢や目標を持たない生徒が約 2割を占めるが、その程度はあっても良いのではないか。進路指導を行いながら、生徒自身の中で、自然に醸成を待つことも大切ではないか。</p> <p>進路指導については、ルールを敷きすぎないことが望ましい。</p> <p>各界で活躍する卒業生を講師に招いて課外授業が行われているそうですね。是非継続していただきたいと思います。</p> <p>特別講義の実施を含め、他校に比しても充実した指導が実施されている。</p>
エ	<p>規範意識・マナー、人権意識、社会性・公共性、発想力・創造力、企画・調整力、リーダー性・協調性、国際感覚等を備えた「逞しい人材」を育成するための教育活動の提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事はこれから求められることとなる力を育てるものとなっていると答える生徒 95%以上※ ・「科学の甲子園」「模擬裁判」「スピーチコンテスト」等の大会などに参加する生徒 延べ 100人以上 ・校外学修及びオクトーバープロジェクトの満足度 90%以上 	A	A	<p>「規範意識・マナー」や「社会性・公共性」は、他の項目「オ」に含まれるのではないか。</p> <p>評価項目の妥当性を改めて検討する必要がある。</p> <p>本校の特長が表れて好ましい。なお、令和7年度においては希望者が少なく「高校生模擬裁判選手権」への参加が適わなかったと聞く。今後、同大会への参加への復帰も期待する。</p>
オ	<p>家庭や地域等との連携を基盤とした信頼される学校づくり・開かれ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会の保護者参加率 60%以上 ・家庭への連絡や情報提供が適切に行われていると答える保護者 85%以 	C	B	<p>PTA 総会については、対面とオンラインを併用する「ハイブリッド開催」を検討してもよいのではないか。土日開催やWEB 開催にすれば参加率が上がる可能性がある。</p>

様式第4号

	<p>た学校づくりの推進</p>	<p>上※</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一日体験入学の参加中学生 700人以上 ・地域の行事や奉仕活動、社会貢献活動等に参加するなどして、地域社会に貢献しようとしていると答える生徒 60%以上※ ・協議会の開催 年3回 		<p>PTA 総会への保護者参加率が下がっている現状を重く受け止めるべきかどうか、改めて考えてみてもよいのではないかな。</p> <p>地域行事の参加率が高いことは望ましいが、高校生は勉強や部活動で多忙である点は昔も今も変わらない。そのため、地域行事への参加を「義務感」で強調するのは適切ではない。</p>
<p>カ</p>	<p>安全・安心な学校づくりにつながる学習環境の整備・充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめや体罰等に関する指導案件なし ・街頭指導等の実施 年2回 ・交通事故件数 前年比減 ・防災訓練の実施 年2回 ・健康や安全等に関する指導が適切に行われていると答える保護者 90%以上※ ・AED講習会や熱中症予防講座の実施 ・教育環境の整備が適切に行われていると答える保護者 80%以上※ 	<p>B B</p>	<p>「いじめや体罰等に関する指導案件なし」は、昨今、稀有とも思われ、積極的に評価される。但し、認知につき、より一層の感度が求められるところ、不登校の生徒(があれば)に関しては、保護者との連携を含む当該生徒とその周辺への指導について、緊張感を維持すべきである。</p> <p>交通事故は、具体的にどのような内容か。また、来年度施行(4月1日)される道路交通法の改正(自転車運転に対する反則金制度の導入)への適切な対応をお願いしたい。</p>
<p>キ</p>	<p>コンプライアンスの徹底と学校における働き方改革の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の不祥事なし ・監査における指摘事項なし ・時間外在校等時間の前年比減 ・夏季休暇取得率 100% 	<p>B B</p>	<p>時間外在校等時間を改善(短縮)するための具体的な取り組みはなされているか。(産業医からの助言や面接指導、職員衛生委員会での協議等)</p> <p>全国的に教職員の不祥事が目立った年、働き方改革も進行中とのこと期待している。教員研修の充実によって、引き続き、教員らの意識の涵養に努められたい。</p>